

北海^{ほくかい}道^{どう}や新潟^{にいがた}県^{けん}の知事^{ちじ}
が止^とま^って^いた^た原子^{げんし}力^{りき}発^{はつ}生^{せい}
電^{でん}所^{しょ}の再稼働^{さいかどう}を認^{みと}める方^{ほう}
針^{はり}を打^うち出^だし^ました。現^{げん}

原発が動いています。原発が少しづつ動き出しそうです▼2011年の東日本大震災の時に福島県で起きた原発事故で、国内の原発は全て止まったり、廃炉が決まったりしました。しかし最近、原発再稼働の動きが出ています。大量の電力が必要な人工知能（AI）を多くの人が使うようになり、電力消費量が増えると予測されているからです▼AIを使って、今の仕事の仕方や生活が便利になることはいいことだと思えます。でも、未解決の放射性廃棄物の処理問題と真剣に考える必要があります▼放射性廃棄物の全ての処理が終わるまで10万年もかかります。最終処分場はまだ国内にはありません。原発の敷地内の貯蔵場所が一杯になりそうな原発も増えています。未来を考えるととても心配なのです。

今日の筆者 安井孝之 1957年生まれ。経済ニュースなどをニュースサイトや雑誌に書いているフリーライター。元朝日新聞記者。小さいころはかけっこが好きで、今もジョギングが趣味。

月 日 禮拜

卷之四